

## 「復興構想会議」メモ

内館 牧子

2011.4.26

第2回を終了し、大変に参考になる発表が多く、第3回まではこの形で進めるとのことに異存はありません。

ただ、幾人かの委員が危惧を示された通り、私もこの状態では6月に第一次提言をするのは難しいように思います。

以下を明確にする必要があると考えます。

### ① この会議は何を提言するのか。

現在、文明論から財源論、がれきの処理や仮設住宅、経済特区の問題まで非常に多くの問題が提示されている。

私は最大の命題は「新しい東北のグランドデザイン」だと理解していたが、本来の命題は何なのか、それを明快にする必要があるように思う。それによってここで話すべきこと、話す必要のないことがはっきりしてくる。

### ② 緊急提言について

すでに緊急提言を出している委員もおり、今後も出ると予測される。緊急提言及び、①を進める上でどうしても必要なものについては議論する。

### ③ 会議の進め方について

#### 1. テーマを決めて議論する必要がある。

農業、水産業、林業、教育、医療、役場 等々。

#### 2. 今からだと第一次提言の後になると思うが、全委員を2～3のグループに分け、各グループが同じテーマで議論。その後、全員で議論という方法も一考していかかもしれない。

一回二時間半をみっちりグループ討議にして、次回二時間半は合同討議でもよし、あるいは一回を一時間半ずつに分けてもよい。

今のままだと、第2回のように百家争鳴で、方向が見えなくなる懸念がある。